

介護過程

問題 61 アセスメント(assessment)に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 今できている活動の分析はしない。
- 2 これからできそうな活動の予測はしない。
- 3 利用者が嫌がることは検討しない。
- 4 他職種からの情報は検討しない。
- 5 1つの情報だけで検討しない。

問題 62 Bさん(80歳、女性)はアパートの3階に一人で暮らしている。アパートにはエレベーターはない。みぎだいたいこっとうちかんじゅつ5年前、階段で転倒し、右大腿骨頭置換術を行った。現在、歩行には問題がない。社交的であったが、最近、外出の回数が減った。友人が転んで大けがをしたこともあり、「転びそうで怖い」と言っている。

Bさんへの生活支援の課題として、最も優先すべきものを1つ選びなさい。

- 1 アパートにエレベーターがないこと
- 2 転倒の不安があること
- 3 一人暮らしであること
- 4 手術の既往があること
- 5 外出の機会が減っていること

問題 63 Cさん(83歳、女性)は、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)で、介護老人保健施設に入所している。最近、もの盗られ妄想がひどくなり、「時計がない」「金の時計だから盗まれた」「嫁が盗んだに違いない」と言い、週末に訪れる長男の妻のDさんに対して大声で、「返して」と言っている。

Cさんへの介護目標として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 行動・心理症状(B P S D)を改善する。
- 2 Dさんの汚名を晴らすことができる。
- 3 Dさんと穏やかに過ごすことができる。
- 4 説明を受けて理解することができる。
- 5 興奮時は薬で鎮静を図る。

問題 64 介護計画に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 生活課題を解決するための方法を計画する。
- 2 効果があればアセスメント(assessment)せずに計画する。
- 3 日常的な支援以外の方法を計画する。
- 4 介護福祉職の過去の成功体験をそのまま取り入れて計画する。
- 5 実現不可能でも目標を持って計画する。

問題 65 訪問介護員(ホームヘルパー)が介護計画に基づいて、いつものようにEさん(80歳、男性)に、「一緒に洗濯物を干しましょう」と声をかけた。するとEさんが、「どうしてそんなことやらないといけないんだ」と大声をあげた。このようなことが何回も続いた。

この場面の訪問介護員(ホームヘルパー)のアセスメント(assessment)として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症(dementia)の診断を急いでもらう必要がある。
- 2 声が外に漏れないように工夫する必要がある。
- 3 大声をあげる背景を確認する必要がある。
- 4 決められたことなのでやってもらう必要がある。
- 5 家族から励ましてもらう必要がある。

問題 66 介護過程の評価の実施に責任を持つものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者
- 2 家族
- 3 介護福祉職
- 4 医療関係者
- 5 行政機関

次の事例を読んで、問題67、問題68について答えなさい。

〔事例〕

Fさん(74歳、男性、要介護3)は、長女(45歳)とその息子(15歳)の3人で暮らしている。

Fさんは10年前、パーキンソン病(Parkinson disease)と診断された。A D L (Activities of Daily Living:日常生活動作)全般に、動作がゆっくりで時間がかかる。

Fさんは大柄だが、長女は小柄でやせており、入浴介助が難しい。訪問介護(ホームヘルプサービス)を週3回(入浴介助、長女が留守の時の調理)、通所リハビリテーションを週1回、配食サービスを週1回利用している。居宅介護サービス計画の方針は、Fさんの体調に考慮しながら、住み慣れた自宅で安心して暮らせるように支援することである。ある日、長女から、「お弁当を食べていないことが時々ある」「お父さんが重くて腰が痛い」「そろそろ施設入所も考えている」と話があった。

訪問介護員(ホームヘルパー)は、Fさんの声が小さく、言葉がはっきりせず聞き取りにくくなつたと感じている。

問題 67 訪問介護員(ホームヘルパー)は、居宅介護サービス計画の変更を提案したいと考えている。

Fさんの主観的情報を得る方法として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 体重を測定する。
- 2 Fさんの考えを聞く。
- 3 食事摂取量を確認する。
- 4 表情から気持ちを推測する。
- 5 長女に息子の協力の有無を聞く。

問題 68 チームアプローチ(team approach)での訪問介護員(ホームヘルパー)の役割として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 配食サービスをやめて、訪問介護(ホームヘルプサービス)を増やすように計画を変更する。
- 2 施設への入所手続を代行する。
- 3 浴室を改修する見積りを業者に依頼する。
- 4 本人と家族の思いをケアカンファレンス(care conference)で報告する。
- 5 訪問介護員(ホームヘルパー)の腰痛予防対策をケアカンファレンス(care conference)で話し合う。